

キリンビール 2014年4月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、消費税増税に伴う反動減があり、マイナス。
- ビール計は、マイナスとなったものの、リニューアルした「一番搾り」は、累計でプラスと好調を継続。
- 発泡酒計は、マイナスとなったものの、リニューアルした「淡麗グリーンラベル」は、累計でプラスと好調を継続。
- 新ジャンル計は、マイナス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、累計でプラスと好調に推移。特に缶は対前年約1割増となった。「一番搾り製法」の独自価値を改めて伝えていく活動を、全社をあげて進めたほか、国民的アイドルが登場する新CMも好評。

《発泡酒》

- ◆リニューアル効果や、サッカーキャンペーンなどの販売施策により「淡麗グリーンラベル」は、累計でプラスと好調に推移。

《新ジャンル》

- ◆「のどごし〈生〉」は、マイナスとなったものの、CMを一新して積極投入したほか、リニューアルを訴求する活動を継続したこともあり、消費税増税による影響を最小限に留めた。

《RTD》

- ◆4月は消費税増税の影響があったものの、前年並みで着地。「氷結」「本搾り」など主力ブランドが好調に推移したこともあり、累計では2ケタ増と好調に推移。

以 上